

平成27年度 行政評価事業別シート

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------|-------------------------------|--|--|---------------------------------|------------------------------|------|
| | <input type="checkbox"/> 実計対象 | <input type="checkbox"/> 評価対象 | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 | <input type="checkbox"/> 完了事業 | <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 | <input type="checkbox"/> 担当者 | 牧 |
| | 全体計画 | | | 経費区分 | - | 内線 | 3645 |
| 事務事業名 | 4292 子育て支援センター管理運営事業 | | | | | | |
| 所 属 | 300200 教育委員会事務局・子ども課 | | | | | | |
| 施 策 | 02020900 子育て環境の整備 | | | | | | |
| 予算 科目 | 会計 | 01 一般会計 | | | | | |
| | 科目 | 030204 民生費・児童福祉費・子育て支援センター費 | | | | | |
| | 事業 | 020000 子育て支援センター管理運営事業 | | | | | |
| 事業目的 | | | | 事業概要・効果 | | | |
| 地域社会全体で子育てを支援する基盤の形成を図り、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う | | | | 子育て支援の拠点施設として、子育て家庭が抱える育児不安等の相談窓口となり、育児支援のための各種講座の開催を実施。また、保護者の繋がりを支援するための集いの場の提供、子育てサークル等の活動に対して育成・支援を行うなど子育て家庭のニーズに沿った事業を行い、子育て家庭全般の支援を実施している。 ファミリー・サポート・センター事務局を置き、地域全体で子育てを家庭を支え合う基盤づくりに努めている。 | | | |

PLAN-DO

年度実績及び予定

| 平成22年度 実績 | 平成23年度 実績 |
|--|--|
| 開所日数 294日 施設延べ利用者 21,826人 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、お父さんの育児講座、ピアママサロン、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催。 | 開所日数 295日 施設延べ利用者 22,060人 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、お父さんの育児講座、ピアママサロン、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催。 |
| 平成24年度 実績 | 平成25年度 実績 |
| 開所日数 293日 施設延べ利用者 22,549人 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、お父さんの育児講座、ピアママサロン、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催。 | 開所日数 294日 施設延べ利用者 21,488人 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、お父さんの育児講座、ピアママサロン、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催。 |
| 平成26年度 実績 | 平成27年度 予定 |
| 開所日数 294日 施設延べ利用者 21,240人 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、すくすくパパ、シルバー人材センター会員との交流、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催。 | 開所日数 294日 施設延べ利用者 22,000人 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、すくすくパパ、シルバー人材センター会員との交流、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催予定。 |

| | | | | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--|
| 指標名 | | | | | | 単位 | |
| 算式 | | | | | | 単位 | |
| 年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | | |
| 目標値 | 目標 | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | |
| 指標選定の理由 | | | | | | | |
| 最終年度目標の根拠 | | | | | | | |
| 指標名 | | | | | | 単位 | |
| 算式 | | | | | | 単位 | |
| 年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | | |
| 目標値 | 目標 | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | |
| 指標選定の理由 | | | | | | | |
| 最終年度目標の根拠 | | | | | | | |
| 指標名 | | | | | | 単位 | |
| 算式 | | | | | | 単位 | |
| 年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | | |
| 目標値 | 目標 | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | |
| 指標選定の理由 | | | | | | | |
| 最終年度目標の根拠 | | | | | | | |

事業費

(単位：千円)

| | | 平成26年度 決 算 | 平成27年度 予 算 |
|------------|---------|---------------|---------------|
| 事業費 | | 761 | 860 |
| 特定財源 | 国庫支出金 | 247 | 286 |
| | 都道府県支出金 | 247 | 286 |
| | 地方債 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 |
| 一般財源 | | 267 | 288 |
| 人員数(人) | 正規職員 | 1.1 | 1.1 |
| | 嘱託職員 | 1.0 | 1.0 |
| | 臨時職員 | 1.0 | 1.0 |
| 人員コスト | 正規職員 | 7,543.8 | 7,543.8 |
| | 嘱託職員 | 2,725.0 | 2,725.0 |
| | 臨時職員 | 1,177.0 | 1,177.0 |
| | 計 | 11,445.8 | 11,445.8 |
| 市民一人当たりの経費 | | 0.2 | 0.2 |
| 総額 | | 12,206.8 | 12,305.8 |

(単位：千円)

| 平成26年度決算 事業費の内訳 | | |
|-----------------|-----|--|
| 主な節 | 金額 | 内容 |
| 8節 報償費 | 150 | 講座開設の際の講師謝礼 |
| 11節 需用費 | 290 | 事業に使用する消耗品、交流会等の食糧費、クッキング等の賄材料費、ファミリー・サポート・センター用 サポート依頼申請書等印刷費 |
| 13節 委託費 | 18 | 庭木剪定委託料 |
| 15節 工事請負費 | 0 | |
| 19節 負担金補助及び交付金 | 22 | ファミリー・サポート・センター研修参加負担金 |
| その他 | 281 | 郵便代、電話料、カーペットのクリーニング代、ファミリー・サポート・センター補償保険加入保険料、託児保育士賃金 |

(単位：千円)

| 平成27年度当初予算 事業費の内訳 | | |
|-------------------|-----|--|
| 主な節 | 金額 | 内容 |
| 8節 報償費 | 217 | 講座開設の際の講師謝礼 |
| 11節 需用費 | 324 | 事業に使用する消耗品、交流会等の食糧費、クッキング等の賄材料費、ファミリー・サポート・センター用 サポート依頼申請書等印刷費 |
| 13節 委託費 | 19 | 庭木剪定委託料 |
| 15節 工事請負費 | 0 | |
| 19節 負担金補助及び交付金 | 0 | |
| その他 | 300 | 郵便代、電話料、カーペットのクリーニング代、ファミリー・サポート・センター補償保険加入保険料、託児保育士賃金 |

CHECK

| 個別評価 | | |
|--------|--|------|
| 項目 | 評価観点 | 評価内容 |
| 必要性 | <ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか | 高い |
| 評価コメント | 子育て支援の拠点施設として、子育て中の親に寄り添い多様な支援をしている。開催している講座も盛況。施設的な要望はあるが、事業内容は充実させている。 | |
| 有効性 | <ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか | 大変有効 |
| 評価コメント | 子育て家庭のニーズに沿った事業を行うことで評価を得ている。父親の育児参加や世代間交流を目的とした講座の開設等、子育て家庭の支援に力を入れている。 | |
| 効率性 | <ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか | やや向上 |
| 評価コメント | 事業費に対する国や県の補助金を活用している。 | |

振り返り（決算年度の取組み課題）

就園前の幼児と保護者に対し、ニーズに沿った支援ができていない。利用者が多く駐車場の確保が課題である。

ACTION

1次評価

| | |
|--|------------|
| 次年度以降の方向性 | 抜本的見直し（拡大） |
| 総合評価コメント | |
| <p>子育て世帯への育児支援や相談窓口として重要な役割を果たしている。利用者が多くなってきており、中央児童センターとの併設の現状を見直す時期に来ている。</p> | |

2次評価

| | |
|--|------------|
| 次年度以降の方向性 | 抜本的見直し（拡大） |
| 2次評価コメント | |
| <p>子育てをしている保護者の集いの場や育児相談、世代間交流等、地域において重要な役割を果たす事業であり、今後の必要性も高い。現状施設の環境等に限界があるため、今後に向けて見直しが必要である。</p> | |

外部評価

| | |
|--|------------|
| 次年度以降の方向性 | 進め方の改善（拡大） |
| 外部評価コメント | |
| <p>依頼と提供の良い信頼関係の循環が更に広がることで、「子育てしやすいまち 須坂」がより実感できるようになる。 子育て中の親のニーズを的確につかみ、さらに子育てに役立つ講座を行っていただきたい。</p> | |